



沼津市文化財 センター通信 Vol.9

2022年7月発行



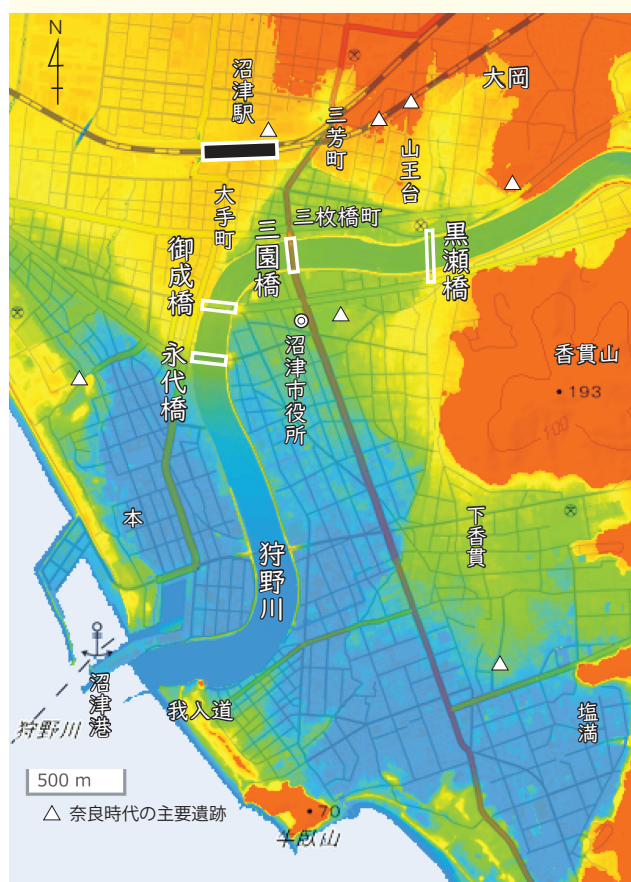
文化財通信
バックナンバー



沼津市公式Youtube Ch.
(沼津の歴史紹介)



沼津中心市街地の発展のかぎは狩野川にあり？



狩野川周辺の標高図（国土地理院地図より作成）

身近にある川だけど、注意深く見ると
浅い場所もあることが分かるね！



黒瀬橋から三枚橋町方向をみると、狩野川に浅瀬が見えます。三枚橋町は、現在もビルがたくさん並ぶ場所。

現在の中心市街地である沼津駅周辺の発展はいつ頃から始まったのでしょうか。それは約1,200年前の奈良時代頃と考えられます。実は沼津駅周辺では、この頃の大きな集落遺跡や寺院跡が見つかっているのです。

なぜ奈良時代に大きな集落や寺院がつくられたのか、その理由の一つに狩野川周辺の地形が関係しています。

左の図は、狩野川周辺を標高によって色分けしたものです。青色は標高4m以下、緑色は4～6m、黄色が6～8m、オレンジ色が8m以上を表しています。この図を見ると、沼津駅付近から永代橋辺りまでが、南側に張り出すように少し標高が高いことがわかります。一方、永代橋より南側は青色で塗られた低地が広がります。

川と海との交差点 沼津

そして狩野川の中も、永代橋から北側は緑色になっています。注目すべきは、その周囲も同じ緑色であり、川との高低差が小さい場所が広がっている点です。現在の御成橋から黒瀬橋が架かっている周辺が特に小さい場所となっています。

かつては、ここよりも南側までは海用の大きな船でも狩野川河口から入ることができました。実際に100年前頃までは御成橋の南側に魚市場があったのです。しかしここから先は、川底が浅くなるため、海用の船は入れず、川用の船に乗りかえなければなりません。つまり、たくさんの荷物を積んで沼津までやってきても、荷物を伊豆の内陸に運ぼうとすると、この辺りで一度荷物を下ろさないといけないのです。そうすると、海用の船で行ける最奥部、現在の御成橋から三枚橋周辺が荷揚げ場や物資を交換する市場として発展していくのです。

奈良時代は全国的に交通が発達した時代でした。交通の発達と海と川とがつながる特徴的な地形の結びつきこそが、沼津駅周辺の発展のかぎだったのです。



2021年

色々なイベントを実施しました！



東日本最古級！ 高尾山古墳の謎にせまる！？ 高尾山古墳出土遺物展



令和4年3月に金岡地区センターにて、東日本最古級の高尾山古墳（前方後方墳）から出土した武器や土器、鏡や勾玉等の副葬品を展示しました。

筑波大学の滝沢先生による出土品からわかった古墳が造られた年代や埋葬者の人物像、当時の様子についての徹底解説動画はこちらのYouTubeから見られます♪



令和4年1月に歴史学習を行いました。戦国時代に関東一円を支配した北条氏の重要な水軍拠点だった長浜城。北条氏の成り立ち、駿河湾海戦や地元との関わり等、曲輪や土塁といった防御構造を見ながら歴史を学びました♪

愛鷹山に眠る開拓者たち



令和4年3月に、「愛鷹山に眠る開拓者たち 東海最大級の古墳群と地域の再生」と題した特別展示を市立図書館で開催しました。

愛鷹山の古墳群については文化財センター通信 Vol.7で紹介しているほか、講演会動画も公開しています。

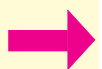


古墳からの出土品



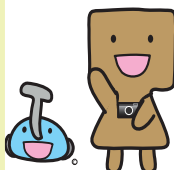
文化財 まちあるきマップ

沼津市文化財センターでは、沼津市内の文化財を紹介する地図を作っています。これまでに金岡・浮島・原・戸田を作成しました。今年は、内浦・西浦の作成を予定しています。地図を片手に皆さんがお住まいの地域の文化財をめぐってみてはいかがでしょうか？



まちあるきマップはこちら

案内図



2022夏

今年もやります♪

こども文化財めぐり 2022 ～文化財クイズに挑戦しよう～

今年も、こども文化財めぐりを実施します♪
沼津市内にある文化財をめぐり、クイズに答えて景品をゲットしよう♪君はいくつ正解できるかな？詳しくは、チラシやHPをご覧ください♪

沼津市文化財センター

展示室見学 平日9時00分から16時30分
(土・日曜日、祝日、年末年始はお休み)
見学無料
〒410-0106 静岡県沼津市志下530
TEL 055-935-5010 / FAX 055-933-1270
沼津市教育委員会文化振興課 文化財企画係・文化財調査係
E-mail cul-bunkazai@city.numazu.lg.jp

